

きばらん海



①祭りのスタートは神事から ②子どもの健やかな成長を願って、わっしょい！ ③女性太鼓グループ「朱雀」の力強い演奏 ④大漁みこしでは、沿道から激励の水かけが。 ⑤旧メンバーが復活し、12人で臨んだARTSライブは熱気に包まれました。 ⑥各団体が個性あふれる踊りを披露しました。 ⑦1万発の花火大会のフィナーレは、九州最大の三尺玉花火が夜空を彩りました。 ⑧1,500人分の漁師なべが振る舞われました。 ⑨山車が市街地を回り、祭りを大いに盛り上げました。 ⑩3年ぶりに開催されたカッター大会では、熱戦が繰り広げられました。 ⑪枕崎火の神太鼓保存会とよさこいチーム「枕崎舞炎鯉」とのコラボ

りで、32団体約2300人が、浴衣やハッピーのほかさまざまな衣装で枕崎音頭などを楽しく踊りました。
 2日目の大漁みこしでは39基が市街地を威勢よく練り歩いたほか、メインステージでは恒例となったFMラジオの公開録音も行われ、ゲストが祭りを盛り上げました。
 祭りのフィナーレでは、九州最大の三尺玉花火が夜空を鮮やかに彩りました。

南薩摩最大の夏祭り「さつま黒潮『きばらん海』枕崎港まつり」が8月3・4日、枕崎漁港や市街地で開催され、2日間で延べ13万人の人出でにぎわいました。
 初日のメインイベントは総踊り。歩行者天国になった海岸通り。

2日間
 熱気あふれる

